

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	563 橋梁維持補修事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路橋りょう費
基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する	目	04	橋りょう維持費
		細目	348	橋梁維持補修事業
		細々目	01	橋梁維持補修事業
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部署	コード	191000	担当者氏名	岩野 庄司
	名称	建設2課	連絡先	43 - 2329 (内線) 254

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	橋梁を利用する人	※対象件数
成果(どうする)	橋梁維持管理業務として、橋梁維持補修工事を実施し、安全・安心で快適な橋梁環境が提供される。	
根拠法令・要綱等	道路橋示方書、道路法、道路構造令	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	橋梁の維持管理業務として、橋梁維持補修工事を実施する ・橋梁維持工事 2件 ・橋梁修繕費 2件	
社会情勢の変化等	きめこまかな臨時交付金により平成22年度予定箇所を平成21年度(H22線)で執行	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	委託先
2 配置人員	1人
3 年間運営費	4,186千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			橋梁維持管理工事	件	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2
橋梁補修	件	目標 0 実績 0	目標 2 実績 2	2	2	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				橋梁修繕件数	住民の安全・安心の観点から、点検を強化し、補修箇所数の成果を以って満足度を判断する	箇所数	目標 2 実績 2

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	535	4,186			1,300		1,500	
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	535	4,186			1,300		1,500	
事業投入人件費(B)	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.5人	3,600
フルコスト(A)+(B)	4,135	7,786			4,900		5,100	

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業コースが薄れていない事業		
【○をつけた場合、コースの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 臨時地方法道整備事業	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	橋梁点検の強化を図り、毀損箇所の早期発見と必要最小限の補修に努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 橋梁長寿命化修繕計画策定事業に基づき、橋長L=15m以上の橋梁点検を実施

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 秀幸
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 橋梁長寿命化修繕計画を策定し、これまでの事後保全的な修繕対応及び架替から、計画的且つ予防的な修繕、架替対応へと円滑な政策転換を図り、橋梁維持に係るコスト削減を図りつつ、安全で安心な道路環境・生活環境が確保する。
現時点における課題、その他	橋梁点検を平成21年度に実施し、22年度に長寿命化計画策定が完了する予定であるが、15m以下の橋梁点検及び修繕計画が送れている。また修繕計画も長期となるが、財源確保が難しい。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	優先順位を的確につけ、計画的に修繕及び架替を進める。